

総合技術監理部門についての フリーディスカッション

～総監部門の価値向上（優位性やメリット等）について考えよう～

報告書

2025 年 1 月 23 日

（公社）日本技術士会
技術士制度検討委員会

1. 開催目的

技術士制度検討委員会では、テーマのひとつとして総合技術監理部門の在り方について検討を重ねている。

令和4年度には総合技術監理部門についてのアンケートを日本技術士会会員及び非会員に対して広く行い、約4,000名の方から回答を得た。その中では、総監の位置づけ、総監資格の活用のあり方やコミュニティ(活動の場)の必要性等について多様な意見が出された。

また「文科省第12期 技術士分科会 制度検討特別委員会」においては、技術士制度改改革における継続的検討事項として「総合技術管理部門の位置づけの明確化」が挙げられ、

- ・総合技術監理部門(総監)は、日本独自の技術部門であり、海外の資格との関係性・国内外における位置づけの明確化が必要
- ・技術士会にて実施した総合技術監理部門に関するアンケート結果や、国際的同等性の観点を十分に考慮しつつ、総監に係る現状把握と課題の分析を進め、継続して審議と記載されている。

当委員会では、今後の検討の方向を探るために総監取得者のヒアリングが必要と考えた。

本フリーディスカッションは、総監制度について意見を持つ方々に集まっていただき、現場の意見を収集することで、今後の総監制度のあり方の方向性や、総監の知名度向上について検討することを目的として開催した。

2. テーマ

ー総監フリーディスカッションー総監部門の価値向上(メリット等)について考えようー

3. 主催

技術士制度検討委員会

4. 開催日時、場所

2024年9月28日(土) 13:30～16:30

機械振興会館 6F 6-66 会議室

5. 参加者

ディスカッション参加:54名、委員会関係:7名

6. プログラム

13:30 ～13:35	開会挨拶
13:35 ～13:50	総監制度説明、総監制度検討の経緯と活動
13:50 ～14:05	総監アンケート結果の総括
14:05 ～15:10	ディスカッション①「総監資格の活用について」及び発表
15:20 ～16:25	ディスカッション②「総監の知名度向上について」及び発表

7. フリーティスカッションのまとめ

◆テーマ1「総監資格の活用について」

①「現在どのように総監資格が活用できているか」という視点に基づく意見交換

活用できていない

- ・国としても総監を持っている人のスキルを強く打ち出してもらえると評価につながる。
- ・企業内のニーズがない場合、自らを高めるに特化しがち。防災、企業不祥事の場面でもっと活躍できないか。
- ・20 部門との差別化が難しい、コンピテンシーに差がない。

活用できている

- ・総監資格の受験で得た知識を業務活用、5つの管理(経済性管理、人的資源管理、情報管理、安全管理、社会環境管理)が役立っている(若手)。

②「活用できていない場合、何が課題か」という視点に基づく意見交換

- ・20 部門より 1 ランク上と位置づけられていない。
- ・特色がない。例えば、プロマネの要件とするなどが必要。
- ・ライン長のもつべき資格、係長になるときの資格など位置づけられていない。
- ・総監より PMI / PMP の PMBOK が有名で、総監の認知度は低いいため活用されない。

③「他の技術士資格との差別化できているか、また、どうあるべきか。有資格者のメリット、権限等は各現場でどう扱われているか、また、どうあるべきか。」という視点に基づく意見交換

- ・総監を上位資格として位置付ける(明文化が必要)。
- ・海外の人に対しても位置付けを明確化。
- ・技術士会での位置づけ(上位資格にして欲しい)
- ・研究開発のスタッフを務める技術者にとっては、総合技術監理部門の資格は必須と思われる。(官公庁の技術スタッフには技術士資格、特に総合技術監理部門の取得を義務付けても良いと考える。このことにより、技術士総合技術監理部門が国家にとっても重要資格であることが認知されると考える。)
- ・若手もできている。

◆テーマ2「総監の知名度向上について」

①「総監を含めた技術士知名度向上に向けた活動はどうしたらよいか」という視点に基づく意見交換

- ・積極的な情報発信の体制の整備と強化、このためにメディアの活用(専門家(技術士)として出演)を検討。
- ・社会で必要とされる分野とのネットワーク構築と人材派遣(大学での講義等)
- ・技術士会の部会が核となるコミュニティでアメーバ型活動(自律的活動を行うメンバーの集団で対話、(中略)政府の各種委員会への参画)
- ・総監の「あるべき姿」に向けたロジックモデルでの戦略構築(総監部会で議論し、ビジョン、行動指針等を提言)
- ・「総監」の問題意識の共有と知名度向上のための「部会」を作って活動。
- ・世界共通の資格レベルの指標・事例紹介(総監≒プログラママネージャー、博士、Class8 相当)
- ・インセンティブ(他資格試験の科目免除、APEC エンジニアの認定優遇、技術士・博士の相互認定、一次試験免除、企業内で報酬 up・希望部署への配属優遇、等)
- ・技術士 20 部門の上のランクと総監を規定する(見える化)。これを実現するためには、官庁などでの昇格要件など技術士会としてロビー活動する。
- ・日本技術士会が色々な場で総合技術監理の事例紹介を行い、専門分野の技術士に加えて、総

合技術監理取得の必要性をもっと PR すべき。

②「技術士集団の社会貢献(社会的活動)をどのように進めるべきか、また、現在どのように社会貢献(社会的活動)しているか」という視点に基づく意見交換

- ・様々な技術分野の技術者が分野横断的連携により、イノベーション（異分野の融合による新しい課題解決方法）を起こす行動の権限付与や、持続可能な社会貢献の実行。
- ・「技術者倫理」に基づき「資格を上位に位置づける法制化」に先立って行動を起こすリーダーシップ。
- ・災害（地震、台風、豪雨、土砂崩れ等）への対応、現地支援は自治体に対して専門家としての力が発揮できる。このことを各自治体の委員会・審議会に働きかける。
- ・事故等不祥事に対して知見を有する第 3 者として意見を言うことができる。専門家として関わる事が可能。

◆総括

- ・総監の試験制度そのものへの意見(例：業務経験 10 年の廃止)は、強くはなかった。
- ・総監取得者は国際エンジニア同等とみなすなど、資格取得後のメリットや優位性が必要。
- ・総合技術監理部門は 20 部門より上位に扱われることが適切であり、総監の「あるべき姿」を確立する必要がある。
- ・資格活用については、熟達した専門家として社会に意見を発信し、能力を発揮(災害や事故時に際して専門的立場からのコメントなど)することが望ましく、このためには、コミュニティ創りも必要。
- ・文科省はじめ各省庁、自治体への総監資格活用の働きかけが必要(特に自治体は総監の認知が低いと思われる)ではないか。この下地をつくるために、当委員会は、議論の場を設けるなど継続的な活動を検討。

本企画はフリーディスカッションであり、結論を導くものではないが、参加者によって総監制度に対する様々な意見交換がなされ、大変有意義であった。

【記録写真】



写真-1 オープニング



写真-2 開会挨拶(中川制度検討委員長)



写真-3 総監制度説明(眞先専務理事)



写真-4 総監アンケート結果総括(佐藤委員)



写真-5 ディスカッションの様子(テーマ1)



写真-6 ディスカッションの様子(テーマ1)



写真-7 ディスカッションテーマ1の発表



写真-8 ディスカッションテーマ1の発表



写真-9 ディスカッションの様子(テーマ2)



写真-10 ディスカッションの様子(テーマ2)



写真-11 ディスカッションテーマ2の発表



写真-12 ディスカッションテーマ2の発表



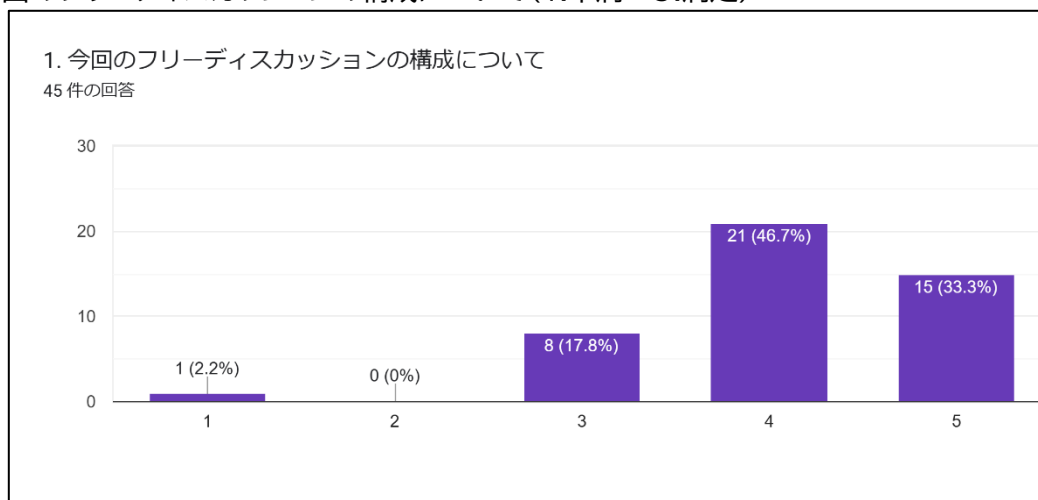
写真-13 ディスカッションテーマ2の発表



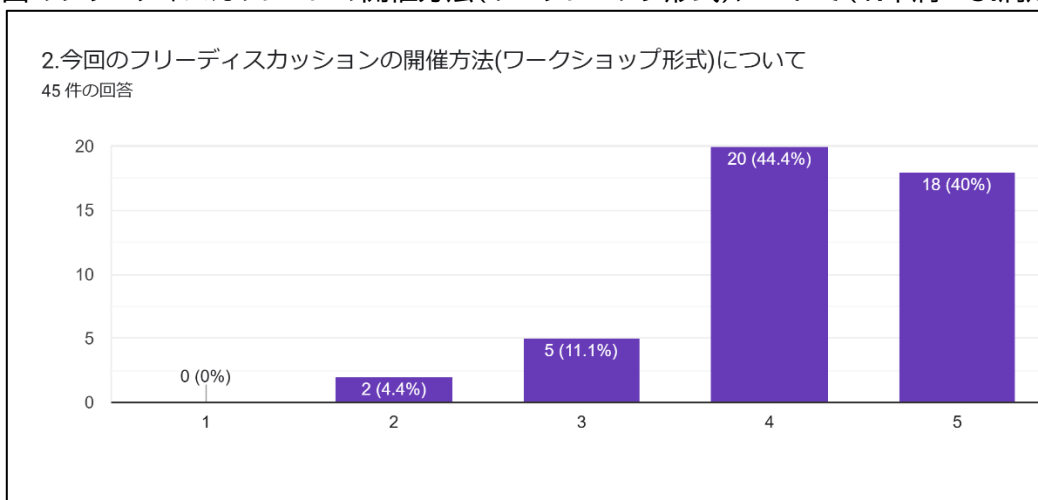
写真-14 総括(石田制度検討副委員長)

総監ディスカッション アンケート結果

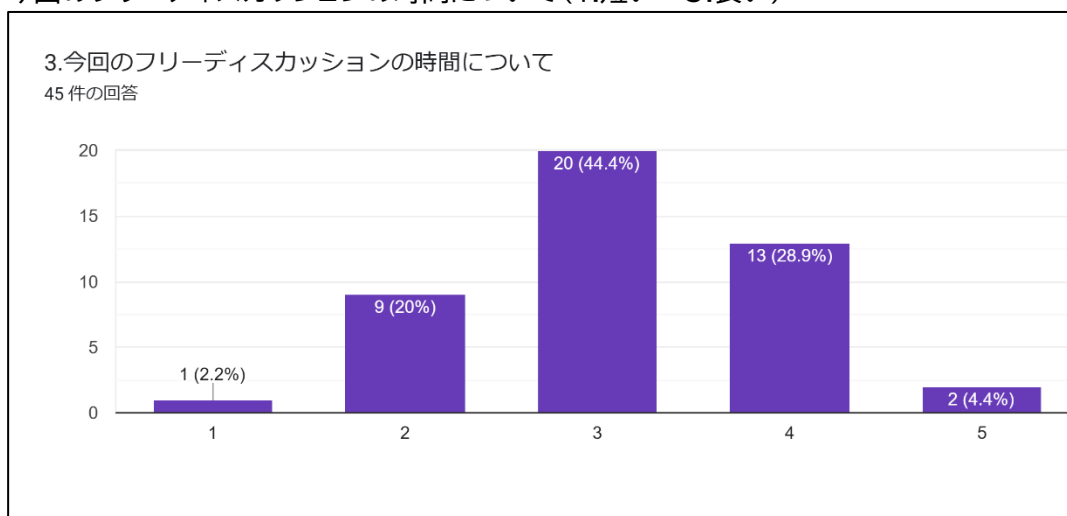
1. 今回のフリーディスカッションの構成について(1:不満～5:満足)



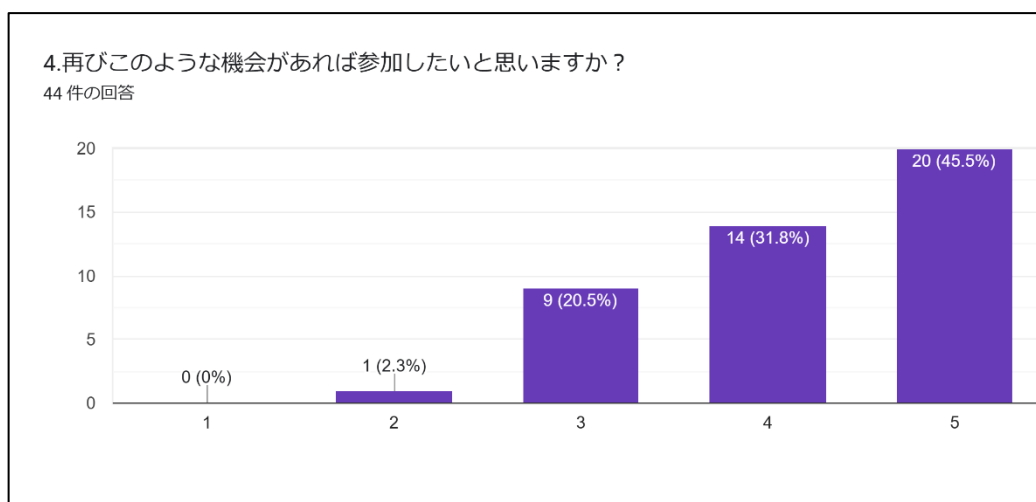
2. 今回のフリーディスカッションの開催方法(ワークショップ形式)について(1:不満～5:満足)



3. 今回のフリーディスカッションの時間について(1:短い~5:長い)



4. 再びこのような機会があれば参加したいと思いますか？(1:全く参加したくない~5:ぜひ参加したい)



5. 今回のテーマについて、さらにご意見があればお聞かせください。

次回は、もっと総監に特化したテーマを選んで意見交換をしましょう。
総監の方と意見交換が楽しかった。ぜひまたやってほしい！
知名度向上については業務独占資格にできるかが1つの鍵だと思います。また、総合技術監理部門がプロジェクトマネージャーレベルであることをPRすることが1つの方策かと思っています。
なし
テーマ？総監の資格活用とはいうものの活用できていないことを前提にそれを裏付けるようなネガティブな設問のように感じられた。そのためか、各グループの議論後の発表も消極的：総監という資格の積極的な意義と、それをどう活用すべきか(残念ながら、「効果的に活用できた」という話しは聞けなかった)という方向の議論がほとんど聞けなかったのが残念。 テーマ②総監の知名度向上というテーマは、技術士の知名度向上と同じような設問。このため、これまでの「技術士知名度アップ」と同じような議論に終始。 今回のフリーディスカッションの狙いも、結果をどう使っていこうとしているのか「技術士制度検討委員会」の意図に疑問を感じる。 もっと前向きな、積極的な方向に向けた課題設定をしてほしい。
今回のディスカッションの結果をお待ちしてます。
技術士(総合技術監理部門)と類似の資格との比較表を纏めることが必要と考えます。経済性管理のプロジェクト管理では、PMPに知名度で負けていますし、安全管理の労働安全では労働安全コンサルタントに知名度で負けています。そういった立ち位置を明確にすることで、総合技術監理の強み、弱みがわかって来ると感じます。強み弱みがわかれば活用検討がやりやすくなります。
他の20部門と同列に扱われるので総合技術監理部門の位置付けについて明確にするべき。差別化をしていかないと、技術を取りまとめる資格としての意味を持たないと思う。
総監の位置付けと社会・企業での活用はますます重要になってきていると思います。
全員参加的なワークショップ的な会議の利点もあるが、挙手して意見を言い合って議論する場面があっても良いかなと思いました、 会議終了後の懇親会は良かったと思います。
総監技術の活用事例を集めてはどうか。
今後どのように改善が進んでいくのか、また進捗状況や活動など展開されると活性化につながると思います。
今回の議論の内容が、その後どのように経過したか、わかるような仕組みがあるとよいと思いました。
総監部門は部会がなく、このような機会を増やしていただきと思います。
参加者にはそれぞれの経験があり、短いグループディスカッションではお互いに遠慮して言いたいことが言えない、あるいは個人のエピソード語りが長くなる等があった。ファシリテーター役の方より個人のエピソードを語る人が業界で上位、先輩に位置する(今後も仕事の付き合いの可能性がある)場合、ファシリテーターはその方に対して進行を調整できなかった。議論の結果を模造紙に書く方式は成果のまとめや調整を同時並行ですするのに時間のロスである。

今回のディスカッションを通じて、現在の総監技術士の多くは組織に所属し、そこでの活動に留まっている現状が確認されました。しかし、昨今の働き方改革により、雇用形態の多様化が進んでいます。例えば、企業や公務員の副業解禁、フリーランスの増加といった流れが加速しており、今後、組織を超えて独立した立場で活躍する総監技術士の可能性が広がっていると感じました。

総監技術士が持つ豊富な経験と専門知識を、組織内にとどまらず、広く社会に還元するためには、官民連携の仕組み作りが急務と考えます。例えば、企業においては、不祥事や事故が発生した際に、総監技術士が第三者委員会のメンバーとして技術的観点から社会との信頼構築を支援できると考えます。また、スタートアップ企業支援においては、技術面に加え、企業ガバナンスや技術者倫理、安全管理の面でも支援を行うことで、質の高い創業支援が可能となります。

さらに、行政分野では、総監技術士がプロジェクトマネジメント経験を活かし、客観的な立場からトレードオフの検討に参画することで、実現可能性の高い政策推進を支える役割が期待できます。特に、公務員経験者による公的プロジェクト参加は「天下り」や「お手盛り」といった批判を受けやすい現状がありますが、公務員 OB/OG が総監技術士資格を取得することで、その能力が客観的に証明され、より積極的にその経験や専門性を活用できるようになることも期待できます。

皆さんからあったように、総監の位置づけをきちんと整理して、文科省へ提言していただきたい。

総監の人的ネットワーキングの拡大について

総監の制度設計に元々不足があったと理解した。技術士制度に必須な「部門」であり、改善を望む。

特にありません。

部門の技術士と総監の技術士の違いを明確にしていく必要を感じています。

総監メリット拡大化に発展させたい。

2 番目のテーマで、技術士そのものの知名度、総監の知名度を明確に分けて議論するとよかった

試験方法や技術士法の改定も含めて検討が必要では？

総合技術監理部門の国際的な資格との位置付けを明確にし、技術革新が進む中、技術士資格の更新制度を早急に立ち上げていただきたい。(受験した時と現時点の技術はかなり変わっている)

今後の討議、検討の過程をオープンにしてほしい。

実際にディスカッションから得られた回答が技術士会の制度委員会のなかで「どう活かされたのか」「どう参考とされたのか」アフター報告の展開をいただきたいです。

有意義なテーマであったと思います。継続実施を期待します。

6. ご自身についてお教えいただけますか

6.ご自身についてお教えいただけますか
45 件の回答

